

▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。

▶ その中での情報は地点番号順に並べる。

▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 259	地図番号 008	① 普通注記	ページ
項目名 アセ		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	( / )

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
2608.90	ase 〈 ahe とは言わぬ。〉	
2617.68	ahe 〈少〉	<del>ase</del>
2649.79	ahe 〈古〉	
2731.97	ahe 〈老〉	
3701.49	ase (ふんんなら ase と言うはず)	
4628.28	se, [この付近では se が多う。] (同席の先生の言語)	
4658.42	ase 〈久保部落の老人は ase と発音する〉	
4668.27	a je (希)	ase
4746.20	ase (セの子音は、東京語と全〈同〉)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > ( ) ( ) は厳密にする。

質問番号 259	地図番号 008	A 普通注記	ページ
項目名 アセ		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(2)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4760.02	aʃe (u<らかこうなる)	aʃe
5604.52	aʃe (石黒村の人々は汗をeʃeと言うという。)	
6430.26	aʃe, ㄱㄷ, ㄱㅈの地帯でないといふ。ㄱㄷ	
6485.46	アセ. ㄱㅈではㄱㅈ。	
6520.79	アセ. アㄱㅈとはならぬ。	
6553.22	aʃe (「ㄷ」の発音は [ʃe] となる。たゞし「ㄷ」は [ʃen, ʃepi] (銭) <<090>>を除き [ʃe] である。)	
7239.82	aʃe (志佐の方では aʃe といふ。発音のㄷ)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( ) ( ) は厳密にする。

質問番号	地図番号	(A) 普通注記 [B] 除いた共通語 [C] 除いた特殊語	ページ
259	008		
項目名		(3)	
アセ			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
	別を意識している。〉	
7332.27	a se (seでない)	
	ただし口蓋化が博多地方に比べて少い。	
7395.63	a se (日常会話では、セ、セはシェ、ジェと発音されていると思う。)	
7401.92	a se. (どうも被調査者の個人的な発音のように思われる。言調査者の出た場面では自由会話の中で調査者がその会話に加わっていても、いなくても、また、当地方(松山近辺)で一度も耳にしたことは無い。)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( ) ( ) は厳密にする。

質問番号 259	地図番号 008	① 普通注記	ページ
項目名 Pセ		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(4)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8303.84	ase (たれ. aseとajeとの音を聞き分けることもしない. その区別の意識もない。)	
8306.42	ase (日常のヤマト語会話では, aje と言っていると思うか. 改めて, 質は られるので, aseに近くなるので あらう。)	
8325.56	ase (緊張して言うための, 全然口蓋化しない。)	
0256.08	aje <共>	asi

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 259	地図番号 008	A 普通注記	ページ
項目名 アセ		除いた共通語 ①	除いた特殊語 (1)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
2649.79	ase <新>	ahe <古>
4609.68.	ase <改ま, たとき>	aφeé
4700.37	ase <ややていぬいな言ひ方>	ase
6458.9/	アセ <上. 共. 新>	ア=エ
0248.00.	ase <新>	asi'